

北方町政策審議会 グループ協議 会議要旨

グループ名	グループ2	出席委員数	6名
日時	平成23年10月15日(土) 9時30分～11時30分		
場所	北方町役場3階 第2会議室		
<p>【協議事項】 (テーマ等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回第3回協議内容の確認</li> </ul> <p>1. 子どもの医療費無料化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 税の扶養控除がなくなり、子ども手当も見直され、子育て対策が減っている。負担が多いので対策を考えてほしい。</li> <li>・ 病院の窓口で北方町の方ですねと言われて支払う現状や、町外の友だちからかわいそうだねと言われたことで、不平等を感じる。</li> <li>・ だが、無料だからやみくもに病院にかかることのないように、その呼びかけや取り組み、医者にかかりにくい体力作りにも力を入れるべき。</li> <li>・ 県内では北方町だけだが、全国的には無料化自治体は少ない。</li> <li>・ 北方の将来を考えて、個人ですべきはどこまでか、行政にどこまで負わせるか、行政が受け持つ範囲はどこまでか。</li> <li>・ 体が弱い乳幼児の医療や、負担が大きい入院費に対しては補助が必要。</li> <li>・ では小中学生はどうなのか、高齢者はどうなのか。その線引きが必要。</li> <li>・ 環境が変わる新1年生など、低学年では病気をしやすいので、3年生までを無料にできないか。所得制限をつけてはどうか。</li> <li>・ 無料になると必ず医者にかかる頻度は高くなる。</li> <li>・ 無料化の範囲を広げれば、要望はどこまでもきりがないもの。無料とはいうが、皆さんの税金が財源になっている。</li> <li>・ 親さんたちの間で署名活動があるが、無料になることだから集まらないわけがない。</li> <li>・ 働く世帯で病気したら子どもを預かってほしいとか、細かいことを言い出したら、きりがない。</li> <li>・ 抵抗力をつけてこそ子ども。昔に比べたら過保護ではないか。</li> <li>・ 小中学生の医療費はどれくらいかかっているのか。負担できないだろうか。</li> <li>・ 意識調査はできないだろうか。</li> <li>・ 高校生や大学生になれば、その費用の多さに、子どもの医療費どころの問題ではなくなる。世代で要求や幸せ度は違うのではないか。</li> <li>・ バランスよく町民が幸せでなくてはならない。</li> <li>・ 親も我慢しなければならないことはあるし、安易に医者へ行くのではなく、医者にかからなくてもいいような子育てを、子どもにも感受させたり、親子のコミュニケーションを通して考えたりしてほしい。</li> <li>・ 北方町の子育ての利点は何か。</li> <li>・ 北方は保育料が安い。岐阜市に比べれば半分くらいである。</li> </ul>			

- ・長期休み中に家にいる子どもの遊び場に困ることから、南に建設予定の児童館は有効的。
- ・学童保育の制限を少しでも取り払い、広く活用できるように。
- ・児童館はお年寄りも集まれるような複合施設にできないか。
- ・老人福祉の施設とは、交流できるシステムを作っていかなければならない。

## 2. 生涯学習や町民自主活動について

- ・カルチャーセンターなどはお金がかかるので、きらりで探している。
- ・子育てが終わったので、趣味になることをしたいが、きらりには今のところそれが見当たらない。
- ・小学校で親子で参加した手話をきっかけに親子でサークルに参加したことがある。
- ・親子で参加する機会がいいことだと思う。大いにあるとよい。
- ・大学が開催している公開講座のようなプログラムがあるといい。
- ・理想は個々が興味をもって何かを立ち上げること。
- ・今年度、まちづくり活動助成金で4回の講演を主催する自主団体がある。
- ・きらりで様々な楽器の演奏家を呼んでコンサートを開催する団体もある。
- ・町民自らの活動は、以前のように町が高額な著名人を呼ぶよりもいいのではないか。
- ・情報を載せているまなびすとに目を通してほしい。
- ・きらりにはボランティアコーディネーターがいるので、相談するとよい。

## 3. 地域のつながりについて

- ・嫁に来たばかりの時、痴呆のおばあちゃんがいて、当時は介護保険制度もなく、世間体に縛られて、外に出せなかったり、お世話の不満も言えなかった。その経験が忘れられなくて、最近自分の老後を考え始めた。
- ・子どもは県外で、将来独居になったとき、自分をなんとかしてくれる社会なのか。(制度にとらわれたり縛られたりせず)施設に入れられてでも助けがあるのか。漠然とだが、理想や不安を抱いている。
- ・助け合える街であってほしい。
- ・介護保険はお金がかかる。
- ・孤独死があるので、見守りが必要ではないか。
- ・TVで見た活動にしても、その地域や当事者が必要に迫られないと動きが出てこない。行政からではなく、地域から自主的な動きが出てくるといい。
- ・北方町では、独居老人のリストを作成している。
- ・町内には老人見守り隊((仮称)高齢者見守りボランティア北方)もある。
- ・行政事務において受け持ち範囲も広がり大変だが、町としてもバックアップを。
- ・北方町の自治会は班などのつながりが取れているが、都市部では大変だと思う。

- ・自治会長が積極的に動いてくれているとありがたい。イベントも定着しないと難しい。
- ・それぞれ地域においてイベントがあるが、それだけでは親しくない人たちとは交流できず、つながりが広がらないのでは。さらに何かが必要かも。
- ・次回開催日について  
10月31日（月）午後7時から